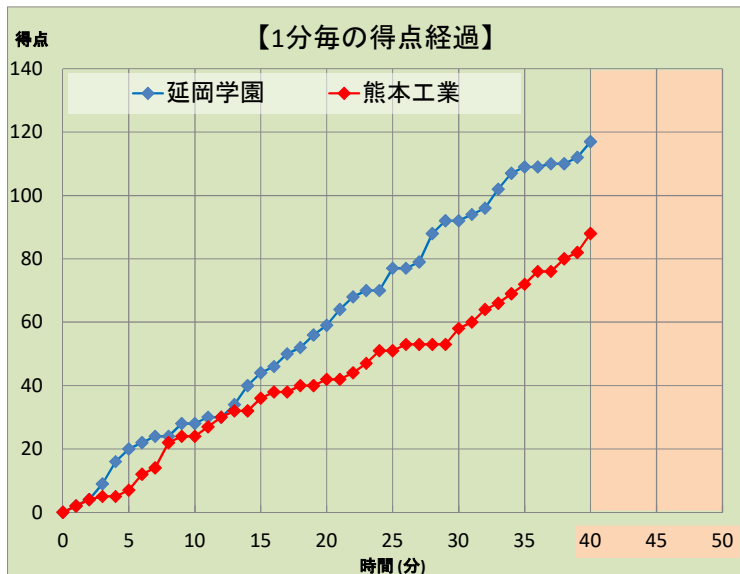


## 第49回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会



会場	福岡市総合体育館	
日時	平成31年3月23日 (土) 9:00	
コート	Aコート	第1試合
カテゴリー	男子	1回戦
主審	福岡 敏徳	
第1副審	皆川 太郎	
第2副審	中屋敷 大	

TEAM A		TEAM B															
延岡学園 117	<table border="0" style="margin: auto;"> <tr><td>28</td><td>1st</td><td>24</td></tr> <tr><td>31</td><td>2nd</td><td>18</td></tr> <tr><td>33</td><td>3rd</td><td>16</td></tr> <tr><td>25</td><td>4th</td><td>30</td></tr> <tr><td colspan="3">OT</td></tr> </table>	28	1st	24	31	2nd	18	33	3rd	16	25	4th	30	OT			88 熊本工業
28	1st	24															
31	2nd	18															
33	3rd	16															
25	4th	30															
OT																	
宮崎1位		熊本2位															
○		●															

### 【BOXスコア】

TEAM A		延岡学園高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	中小路 優	0				1	
5	ポーグ 健	10		5		4	
6	前田 陽向	3		1	1		
7	諸石 雅也	8	○	3	2	3	
8	山本 裕樹	4		1	2	2	
9	市川 廉太郎	7	○	1	2	1	
10	高橋 寛太	0					
11	森下 瞬真	22	◎	7	5	2	
12	片伯部 樂年	8	1	1	3	1	
13	水野 虎太郎	0				1	
14	伊東 和希	0					
15	MUYA KABANGU FRANCIS	44	○	20	1		
16	眞喜志 梨生	2		1			
17	田中 虎太郎	0					
18	木下 岳人	9	○	3		1	
コーチ	楠元 龍水						
合計		117	5	44	14	16	

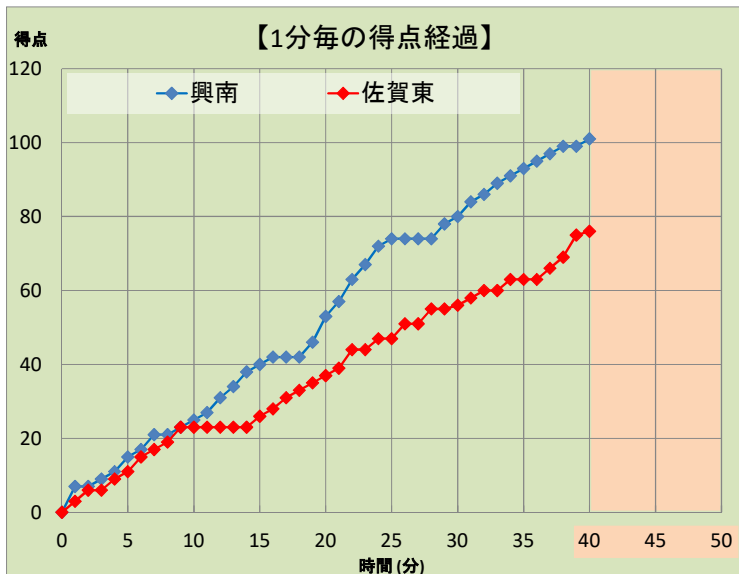
TEAM B		熊本工業高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	吉田 健人	14	◎	6	2	2	
5	橋口 健太郎	6	○	1	1	1	
6	元山 雅嵩	14	○	2	3	2	
7	中村 洗斗	18		2	6		
8	宮田 大輝	0					
9	真鍋 隼	6		3			
10	戸田 凌真	5	1	1		2	
11	知名石 透也	2		1		2	
12	諏訪 武秀	2		1		2	
13	田中 伊吹	0					
14	本山 大蔵	0					
15	野田 和宏	0					
16	古田 圭太郎	19	○	7	5	3	
17	山崎 亮	2	○	1		1	
18	永田 尚輝	0					
コーチ	吉野 勉						
合計		88	6	30	10	14	

### 【戦評】

全九州大会1回戦、宮崎県1位延岡学園対熊本県2位熊本工業との対戦、延岡学園のスターティングメンバーは、#7、#9、#11、#15、#18、熊本工業のスターティングメンバーは、#4、#5、#6、#16、#17で試合開始。第1Q延岡学園が#15の高さを活かして先制、対する熊本工業は速攻からのジャンプショットで応戦。ディフェンスは両チームともハーフコートマンツーマンでスタート。開始5分延岡学園#15の連続得点で18-5で熊本工業タイムアウト。残り2分熊本工業が早い展開から#7の連続3Pで流れを掴み28-24延岡学園リードで第1Q終了。第2Q開始2分、1度熊本工業が追いつき、パスランの早い展開で巧みにディフェンスのズレを作り攻撃を続けるが、ターンオーバーがあり得点が伸びず、延岡学園のインサイドを中心としたオフェンスで得点を重ねられ59-42延岡学園リードで前半終了。第3Q両チームともマンツーマンディフェンスでスタート。熊本工業が思うように得点ができない中、延岡学園は変わらずインサイド中心に得点を重ね引き離し、残り3分で#11の個人技からの連続得点で熊本工業タイムアウト。熊本工業はディフェンスのプレッシャーを強めて巻き返しを試みるが延岡学園は確実に得点を重ねていき92-58延岡学園リードで第3Q終了。第4Q熊本工業#4のジャンプショットの得点から1-2-1-1のオールコートゾーンプレスで反撃を仕掛ける。熊本工業の激しいディフェンスで延岡学園のターンオーバーを誘い流れを掴みかけるが連続得点には繋がらず117-88で延岡学園が勝利。敗れはしたが熊本工業は最後まで諦めずにハードワークを続け健闘した。

【戦評記者】 大石 仁人  
福岡県バスケットボール協会

## 第49回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会



会場	福岡市総合体育館	
日時	平成31年3月23日 (土)	9:00
コート	Bコート	第1試合
カテゴリー	男子	1回戦
主審	萩尾 繁治	
第1副審	岩尾 圭治	
第2副審	貞包 謙	

TEAM A			TEAM B		
興南	101		76	佐賀東	
沖縄2位				佐賀1位	
○				●	

(25 1st 23)  
(28 2nd 14)  
(27 3rd 19)  
(21 4th 20)  
OT

### 【BOXスコア】

TEAM A		興南高等学校				
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則
4	名城 伶真	2		1		2
5	ケリー サマル 奏	36		17	2	
6	大城 達也	2		1		
7	比嘉 一心	20	2	6	2	3
8	宮城 真斗	11		5	1	2
9	金城 亮輝	2		1		
10	ハート サスケ マーク	4		2		3
11	比嘉 駿斗	9	1	2	2	2
12	仲嶺 真平	4		2		
13	島袋 愁己	0				
14	田場 翔大	0				
15	山入端 海人	4		2		
16	平良 草拓	4		2		2
17	許田 重仁	3		1	1	4
18	屋嘉部 篤樹	0				
コーチ	井上 公男					
合計		101	3	42	8	18

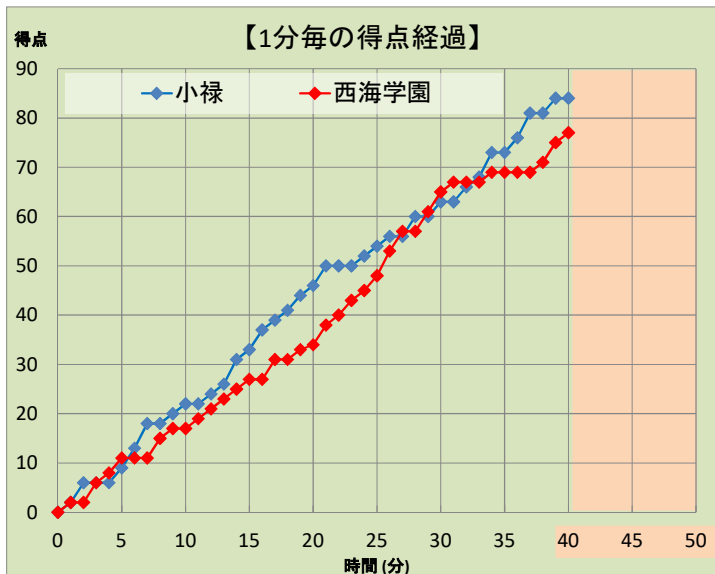
TEAM B		佐賀東高等学校				
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則
2	武富 悠真	0				
4	板垣 侑哉	6		2	2	5
7	江口 崇	16	1	5	3	3
8	中村 祐義	0				
9	千野辺 晟吾	0				
10	渡瀬 友章	17	3	2	4	2
12	秀島 涼太	0				
13	赤峰 輝	3		1	1	3
25	古賀 峻祐	11	1	4		
32	中島 文瑠	6		3		1
38	佐野 光汰	15	3	1	4	3
48	廣重 翔	0				
55	森本 靖大	0				
57	飯田 偉織	0				
87	仁位 亮介	2		1		
コーチ	溝口 陽介					
合計		76	8	19	14	17

### 【戦評】

全九州大会1回戦、沖縄県2位興南対佐賀県1位佐賀東との対戦、興南のスターティングメンバーは、#5、#7、#8、#11、#17、佐賀東のスターティングメンバーは、#4、#7、#10、#13、#38で試合開始。第1Q、興南はオールコートのマンツーマンプレス、佐賀東は1-2-2のゾーン。興南#17のバスケットカウントでスタート。興南は早い段階で選手を総替えし、ゾーンディフェンスへの対応を指示。佐賀東は#38の3Pで流れをつかむも、興南の激しいディフェンスに苦戦。1Qは両チームのディフェンスの生かした展開となった。第2Q、佐賀東はマンツーマンに切り替えるも、興南にオフェンスリバウンドを支配され点差が開く。ここで佐賀東がタイムアウト。しかし、佐賀東はオフェンスの流れがつかめず、興南の早い展開で失点していく。13点差ついたところで佐賀東が2回目のタイムアウト。2Q終盤は両チーム一進一退の我慢が続いたが、残り7秒で、興南#7のバスケットカウントからオフェンスリバウンド支配し、興南#11の3Pで突き放し前半終了。前半は激しいディフェンスから着実に得点を重ねた興南が持ち味を生かしてリードを奪った。第3Q、佐賀東はゾーンディフェンスに切り替え流れをつかみたいが、開始早々、佐賀東#4が4回目のファール。興南の早い展開から#5のアリウープがバスケットカウントとなり、佐賀東がタイムアウト。興南はメンバーを変えながらも、激しいディフェンスから速攻で得点を重ねていく。佐賀東は#10、#38からオフェンスの流れを作りたいがなかなかリズムが作れず、24点差で第3Q終了。第4Q、佐賀東は早めのタイムアウトで何とか点差をつめたい。点差が開き、興南はメンバーをどんどん入れ替える全員バスケットで100点ゲームで試合終了。1Qはお互いにオフェンスの固さが見られたが、2Qから興南の激しいディフェンスと高さを生かしたリバウンドからの速攻が佐賀東を大きく上回った試合であった。

【戦評記者】 横屋 信夫  
福岡県バスケットボール協会

## 第49回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会



会場	修猷館高等学校	
日時	平成31年3月23日 (土)	9:00
コート	Eコート	第1試合
カテゴリー	男子	1回戦
主審	平川 貴博	
副審	堀田 兼史	

TEAM A		TEAM B
小禄	84	77 西海学園
沖縄3位		長崎4位
○		●

### 【BOXスコア】

TEAM A		小禄高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	仲座 空良	◎ 17	3	4		1	
5	山本 涉夢	○ 23		11	1		
6	大田 浩人	○ 6		2	2		
7	備瀬 力斗	○ 12	1	3	3	3	
8	平良 一洋	21	2	7	1	1	
9	平敷 陸斗	0					
10	安里 柊	0					
11	金城 孝俊	0					
12	又吉 本丸	○ 5		2	1	1	
13	當山 幸弥	0					
14	我喜屋 瑞	0					
15	池宮城 光貴	0					
16	花城 怜翼	0					
17	上原 滉生	0					
18	波平 航	0					
コーチ	源古 隆						
合計		84	6	29	8	6	

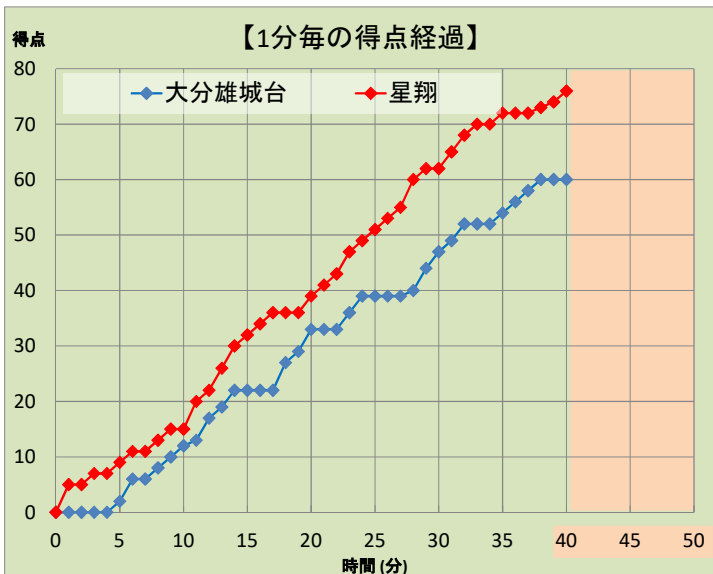
TEAM B		西海学園高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	岩村 理生	16		8		4	
5	青木 侍音	0					
6	河野 大翼	0					
7	浦田 魁心	◎ 21	2	6	3	3	
8	加賀 来夢	○ 9	1	3		3	
9	石本 駿太郎	0					
10	高司 未来斗	○ 8		3	2		
11	宮本 亘輝	○ 8		4		2	
12	荒岩 王雅	0				2	
13	吉永 晃徳	0					
14	山口 大河	○ 15		7	1	1	
15	山本 一輝	0					
16	廣川 空良	0					
17	関 竜一朗	0					
18	村里 仁志	0					
コーチ	鍛治 和彦						
合計		77	3	31	6	15	

### 【戦評】

1回戦、沖縄県3位小禄高校対長崎県4位西海学園の対戦。スターティングメンバーは、小禄が#4、#5、#6、#7、#12、西海学園が#7、#8、#10、#11、#14。第1Qは両チームマンツーマンディフェンスでスタート。出だしは、西海学園が#8の3ポイントなどで主導権を握り、小禄がタイムアウトをとる。小禄は、3-2のゾーンディフェンスで西海学園のターンオーバーを誘い、速攻で逆転し、リードを広げる。#5を中心に得点を重ねた小禄が、22対17でリードした。第2Qは、両チームともに、ディフェンスリバウンドを取り合う展開でスタート。西海学園は1-2-2のハーフコートゾーンプレスから、インターセプトを連発し、#14、#4がレイアップシュートを決めるが、小禄もリバウンドから速攻で着実に加点し46-34でリードして前半終了。第3Q、西海学園が1-1-3と1-3-1のゾーンディフェンスを機能させ、速攻や#4のジャンプシュート、ドライブからのゴール下の合わせで7点差に追い上げ、小禄がタイムアウト。小禄はディフェンスを2-1-2のゾーンディフェンスに変え、リードを守るが、西海学園は#7が中心に活躍し、残り2分で逆転。第3Qは西海学園が65対63でリードして終了。第4Qは小禄がマンツーマンでスタートし、ヘルプディフェンスを随所に効かせ、#4、#8の3ポイントで残り4分で7点リードする。西海学園は1-3-1のゾーンディフェンスで応戦するが、リバウンドからの速い展開で、積極的に攻め続けた小禄が好ゲームを84対77で勝利し、2回戦進出を決めた。

**【戦評記者】** 石井 雅太  
福岡県バスケットボール協会

## 第49回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会



会場	修猷館高等学校	
日時	平成31年3月23日 (土)	9:00
コート	Fコート	第1試合
カテゴリー	男子	1回戦
主審	柿原 実	
副審	山本 玲	

TEAM A		TEAM B															
大分雄城台	60	76 星翔															
大分4位		熊本3位															
●	<table border="1" style="margin: auto;"> <tr><td>12</td><td>1st</td><td>15</td></tr> <tr><td>21</td><td>2nd</td><td>24</td></tr> <tr><td>14</td><td>3rd</td><td>23</td></tr> <tr><td>13</td><td>4th</td><td>14</td></tr> <tr><td colspan="3">OT</td></tr> </table>	12	1st	15	21	2nd	24	14	3rd	23	13	4th	14	OT			○
12	1st	15															
21	2nd	24															
14	3rd	23															
13	4th	14															
OT																	

### 【BOXスコア】

TEAM A		大分雄城台高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	永原 拓海	◎ 25	1	8	6	2	
5	眞内 柁門	0					
6	宇都宮彰人	0					
7	藤塚圭祐	0					
8	生野太一郎	○ 0					
9	日高太誠	○ 0				2	
10	原田倅輔	○ 22		8	6	1	
11	柴田恭輔	○ 13		5	3	5	
12	中山 進	0					
13	山本良太	0				2	
14	平松岬汰	0					
15	浅野 光	0				2	
16	安部寿紀	0					
17	坂本圭弥	0					
18	船木歩夢	0					
コーチ	藤原和之						
合計		60	1	21	15	14	

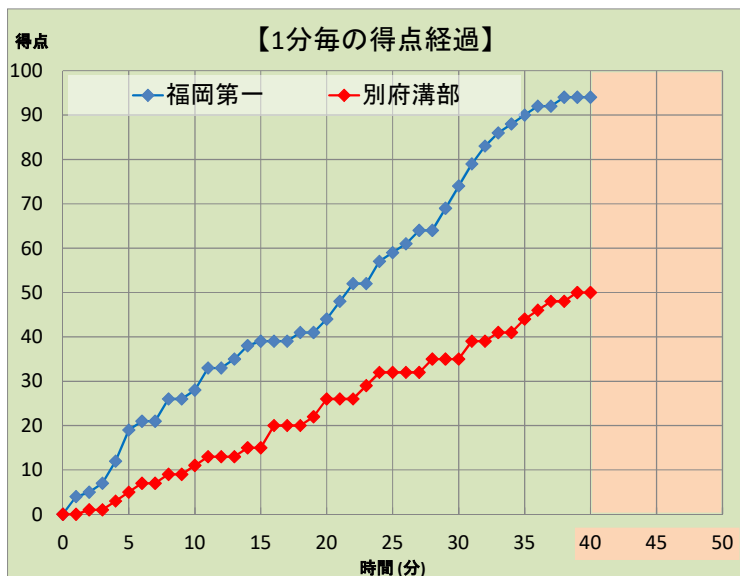
TEAM B		星翔高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	中山 莉久	◎ 24	2	8	2	5	
5	揚野 克基	○ 1			1		
6	清成 将平	0					
7	藤本 翼	○ 18		9			
8	中村 友哉	○ 8		3	2	3	
9	白石 京介	○ 10	2	2		5	
10	石村 祐斗	0					
11	木山 陸	1			1		
12	瀬井 泰斗	8	1	2	1	3	
13	甲斐 惣士朗	6		3			
14	坂本 泰平	0					
15	米村 大河	0					
16	白石 瞬	0					
17	西野 恵人	0					
18	森山 拓	0					
コーチ	本郷 宏						
合計		76	5	27	7	16	

### 【戦評】

全九州大会1回戦、大分県4位大分雄城台高校対熊本県3位東海大星翔高校との対戦。スターティングメンバーは大分雄城台が#4、#8、#9、#10、#11、東海大星翔が#4、#5、#7、#8、#9。1Q東海大星翔が#9の3ポイント、ドライブ、#7のリバウンドによりリードしゲームの主導権を握る。大分雄城台は#4のドライブ、#10のジャンプシュートで得点した。東海大星翔のペースでゲームは進んでいたが大分雄城台がプレスディフェンスを行い東海大星翔の得点が止まり、12対15で1Qを終えた。2Qに入り東海大星翔は#7、#8のインサイドプレイ、リバウンドを中心に得点した。大分雄城台は最大16点リードされるも、#10のジャンプシュートや#11のドライブ、#4の連続得点により追いつき33対39で前半戦を終えた。3Qに入り東海大星翔が#7のリバウンドからの速攻を出しリードを広げた。大分雄城台も#10のジャンプシュートを中心に得点し、残り2分でオールコートゾーンプレスを行うも東海大星翔の勢いは止まらず47対62で3Qを終えた。4Qでは東海大星翔はハーフコートマンツーマンでプレッシャーをかけ、ターンオーバーを誘い、速攻で得点した。大分雄城台は、#10のシュート、#11のドライブで相手のファールを誘いフリースローで得点した。ゲームの終盤では、東海大星翔の#4、#9が退場し得点が止まるが、前半のリードを守り60対76でゲームを終えた。

【戦評記載者】 萱嶋 勝平  
福岡県バスケットボール協会

## 第49回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会



会場	福岡市総合体育館	
日時	平成31年3月23日 (土) 10:30	
コート	Aコート	第2試合
カテゴリー	男子	1回戦
主審	仲間 芳幸	
第1副審	藤田 泰徳	
第2副審	徳丸 昂	

TEAM A		TEAM B															
福岡第一	94	50 別府溝部															
福岡1位		大分2位															
○	<table border="0" style="margin: auto;"> <tr><td>28</td><td>1st</td><td>11</td></tr> <tr><td>16</td><td>2nd</td><td>15</td></tr> <tr><td>30</td><td>3rd</td><td>9</td></tr> <tr><td>20</td><td>4th</td><td>15</td></tr> <tr><td></td><td>OT</td><td></td></tr> </table>	28	1st	11	16	2nd	15	30	3rd	9	20	4th	15		OT		●
28	1st	11															
16	2nd	15															
30	3rd	9															
20	4th	15															
	OT																

### 【BOXスコア】

TEAM A		福岡第一高等学校				
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則
1	當山 修梧	2		1		1
8	河村 勇輝	4	◎	2		
13	神田 壮一郎	11	○	3	1	1
23	砂川 琉勇	3	1			
63	井上 僚人	2		1		
27	松本 宗志	0				
31	ハーバージャン ローレンス ジュニア	10	1	3	1	
37	仲田 泰利	4		2		1
40	三宅 翔りーディローチ	0				
44	内藤 凌太	4		2		
46	小川 麻斗	21	○	2	6	3
54	内尾 聡理	15	○	7	1	1
59	山田 真史	11	3	1		1
60	クベマジョセフ スティーブ	3	○	1	1	
65	キエキエトピー アリ	4		2		
コーチ	井手口 孝					
合計		94	10	29	6	6

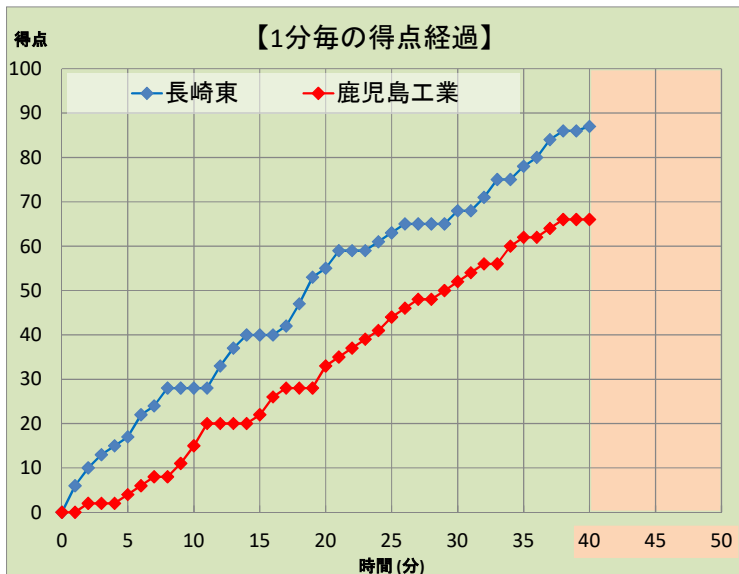
TEAM B		別府溝部高等学校				
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則
0	石橋 佑生琴	0				
2	後藤 和輝	0				
3	戸次 海斗	0				
5	島袋 琉希	10		4	2	1
7	嘉手川 咲	3	1			1
10	陳 凌霄	2		1		1
14	村中 海斗	0				
19	高村 佳吾	0				
23	永留 圭大	2		1		1
24	後藤 夏輝	0				
25	三宅 勇大	11	2	2	1	2
32	ZARIMENYA KATO HUSSEIN	17		8	1	1
34	佐藤 大地	0				
51	久保倉 拓哉	5	1	1		2
98	佐藤 祐嘉	0				
コーチ	末宗 直柔					
合計		50	4	17	4	9

### 【戦評】

全九州大会1回戦、福岡県1位福岡第一対大分県2位別府溝部との対戦、福岡第一のスターティングメンバーは、#8、#13、#46、#54、#60、別府溝部のスターティングメンバーは、#5、#7、#23、#25、#32で試合開始。第1Q開始早々インサイドの激しいポジション争いが始まる。ディフェンスは両チームともハーフコートマンツーマンでスタート。開始4分福岡第一の速攻からの#46の得点で福岡第一が流れを掴む別府溝部が流れを変えるべく9-1でタイムアウト。しかし、福岡第一は強固なディフェンスで相手の得点を簡単には許さず、インサイドとアウトサイドのバランスの良いオフェンスで得点し、28-11福岡第一リードで第1Q終了。第2Q福岡第一はスターティングメンバーを変えて応戦。別府溝部はインサイドに対して激しくディフェンス。しかし福岡第一の速攻が連続で決まり引き離しにかかる。別府溝部#32#5の得点で喰らいつき流れは膠着状態のまま44-26福岡第一リードで前半終了。第3Q別府溝部は2-3と1-3-1ゾーンディフェンスに変えゲームの主導権を握ろうと試みるが、福岡第一は確実に得点を重ねていき徐々に点差を広げていく。別府溝部は#32のピックアップロールを起点にオフェンスを展開していくが強固なディフェンスに阻まれ、福岡第一が速攻で引き離し74-35福岡第一リードで第3Q終了。第4Q別府溝部は1-3-1ディフェンスで激しくプレスし反撃を試みるが、福岡第一#31のスピードのあるドリブルプッシュから別府溝部のディフェンスをかき回し相手に流れを渡さない。最終スコアは94-50で福岡第一が勝利した。別府溝部は最後まで諦めずに果敢にリングに向かい攻め続け健闘した。

【戦評記者】 大石 仁人  
福岡県バスケットボール協会

## 第49回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会



会場	福岡市総合体育館	
日時	平成31年3月23日 (土) 10:30	
コート	Bコート	第2試合
カテゴリー	男子	1回戦
主審	和田 敏文	
第1副審	堤 哲也	
第2副審	潮平 朝一郎	

TEAM A			TEAM B		
長崎東	87		66	鹿児島工業	
長崎2位				鹿児島1位	
○				●	

### 【BOXスコア】

TEAM A		長崎東高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	谷川 海斗	43	7	11		2	
5	加藤 健翔	20	2	7		1	
6	森田 真央	6		3		2	
7	松本 崇士	0				3	
8	宮田 佳祐	0					
9	梅本 悠吏	1			1	1	
10	萬屋 善	6		3			
11	永野 威旺	11	3	1			
12	猪股 寛大	0					
13	市原 拓馬	0				1	
14	横山 昴輝	0					
15	中田 将暉	0					
16	坂本 和寛	0					
17	大崎 蓮	0					
18	中坂 悠人	0					
コーチ	内田 直志						
合計		87	12	25	1	10	

TEAM B		鹿児島工業高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	末吉 玲	0					
5	那須 爽汰	6		3		1	
6	中野 翔太	2		1			
7	吉直 潤太	15	2	3	3	1	
8	大山 樹	0					
9	濱上 竜平	0					
10	松下 剣士郎	0					
11	野崎 大翔	2		1		1	
12	中蘭 倫人	0					
13	中俣 淳之介	0				1	
14	原口 拓己	18	1	7	1	1	
15	日高 雄介	6		3			
16	有村 心吾	6		3		3	
17	佐々木 雄大	0					
18	山下 聖	11	1	4		2	
コーチ	中島 祐介						
合計		66	4	25	4	10	

### 【戦評】

全九州大会1回戦、長崎県2位長崎東対鹿児島県1位鹿児島工業との対戦、チームAのスターティングメンバーは、#4、#5、#6、#7、#11、チームBのスターティングメンバーは、#7、#14、#15、#16、#17で試合開始。第1Q長崎東は#4の3Pが立て続けに決まり主導権を奪う。鹿児島工業はカットインを中心としたモーションオフェンスを展開し立て直しを図るがシュートが決まらずリズムに乗れない。リバウンドから速攻も出始めた長崎東が13点のリードを奪い第1Q終了。第2Q鹿児島工業はディフェンスの頑張りからリズムが生まれ始め#15のインサイドと#7の3Pで反撃開始。長崎東も#4の3P、#5、#7の個人技、ターンオーバーからの速攻で主導権を譲らず、55対33の長崎東リードで前半終了。序盤に固さが見られた鹿児島工業を抑え効果的な3Pを決めた長崎東が主導権を握った展開となる。第3Q互いにディフェンスやルーズボール、スプリントバックなどを頑張り膠着状態が続く。しつこいディフェンスからタフショットを誘い鹿児島工業が#14、#7の得点で徐々に点差を縮めていき68対52で第3P終了。第4Q追い上げたい鹿児島工業はフルコートプレス、1-2-2ゾーンディフェンスを仕掛けターンオーバーを誘うがシュートを決めきれず、長崎東の#4、#5が3P、2Pを冷静に沈める。終盤追い上げたい鹿児島工業に対して長崎東は慌てることなくゲームをコントロールし、87対66で試合終了。序盤固かった鹿児島工業からしつこくチェンジングディフェンスを仕掛けられても慌てず、#5、#7の高い個人技とリバウンド、#4、#11の3Pを効果的に沈めた長崎東が冷静に勝利したゲームであった。

**【戦評記者】** 足立 亮一  
福岡県バスケットボール協会

## 第49回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会



会場	修猷館高等学校	
日時	平成31年3月23日 (土)	10:30
コート	Eコート	第2試合
カテゴリー	男子	1回戦
主審	志岐 幸次朗	
副審	藪崎 康平	

TEAM A			TEAM B		
宮崎北	88		82	直方	
宮崎3位				福岡4位	
○				●	

21 1st 18

18 2nd 12

15 3rd 18

22 4th 28

12 OT 6

### 【BOXスコア】

TEAM A		宮崎北高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
1	ナロン 恭平 マイケル	◎ 24	1	9	3	2	
2	吉武 那朗	0					
3	泰田 知岳	0					
4	田中 駿也	13		5	3	2	
5	馬場 大輔	○ 11	1	2	4	3	
6	富永 大稀	3		1	1	2	
7	仁田脇 青空	0					
8	池上 颯陽	0					
9	長友 太志	○ 14		5	4	5	
10	長友 大悟	0					
11	村田 夏生	○ 13	1	4	2	5	
12	牛島 涼	0					
13	板井 成樹	○ 8	2	1		2	
14	馬崎 湧	0					
91	丸茂 護人	2		1			
コーチ	米田 史彦						
合計		88	5	28	17	21	

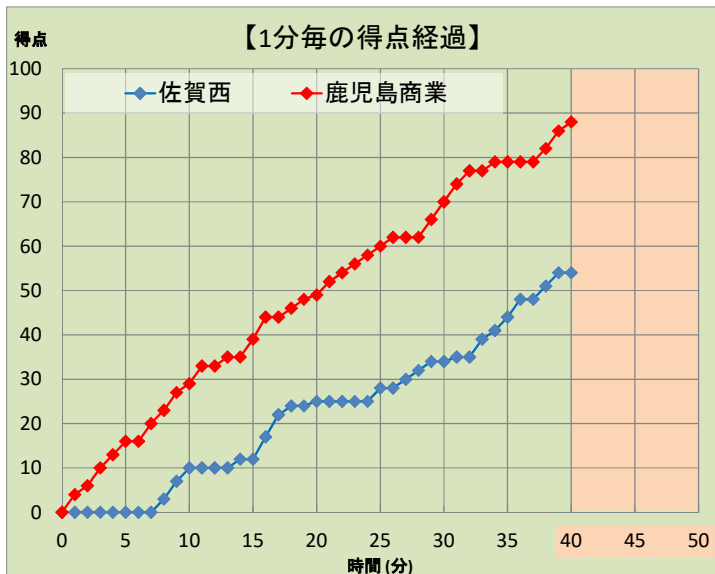
TEAM B		直方高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
00	手嶋莉麻	3	1				
10	岡村天斗	0					
13	栗野駿輔	0					
28	森口祐翔	○ 0				5	
44	花田佳大	0					
46	松尾大空	◎ 10	1	3	1	5	
47	竹本渉吾	0					
65	右田亮介	3		1	1	1	
72	陣原一希	○ 13		6	1	4	
73	内田昂輝	0					
78	倉員勇歩	0					
87	海出 星	0				2	
88	空増怜央	0					
90	上村遥斗	○ 32	6	6	2	2	
91	西岡大翔	○ 21		9	3	3	
コーチ	文野 政憲						
合計		82	8	25	8	22	

### 【戦評】

全九州大会1回戦、宮崎県3位宮崎北対福岡県4位直方の対戦。宮崎北は#1、#5、#9、#11、#13、直方は#28、#46、#72、#90、#91で試合開始。第1Q、宮崎北はドライブや#1の3Pシュートが決まり10-3とリードを広げる。直方はディフェンスの強度を上げ、速攻、3Pで応戦。互いに点数を取り合い第1Q、21-18で宮崎北リード。第2Q、開始2分で宮崎北が25-18とリードを広げ、一進一退の攻防が続く。第2Q残り1秒、宮崎北#11のオフェンスリバウンドからファールをもらいフリースローを成功させ、39-30宮崎北リードで前半終了。第3Qも一進一退の攻防が続く。残り5分、直方#90、#00の連続3P、#90の速攻が決まり、一気に点差を3点差に縮め、たまたま宮崎北がタイムアウト。第3Qは54-48宮崎北のリード。第4Q、宮崎北が速攻、#1の個人技で点差を10点に広げたところで、直方タイムアウト。直方オールコートマンツーマンにディフェンスを変えて流れをつかみ、3連続得点で一気に4点差とする。宮崎北たまたまタイムアウト。流れは変わらず直方#90の連続3P、#91、#46の連続得点で一気に逆転に成功するが、すかさず宮崎北#11の3P、ゴール下で再逆転とし、シーソーゲームが続く。残り40秒、宮崎北#1のバスケットカウントで76-75と逆転。残り27秒直方フリースローで同点とし、残り16秒、スティールからフリースローを得るも2本とも外れ、勝負の行方は延長戦へ。一進一退の攻防が続き、残り1分、宮崎北#5のバスケットカウントで85-82でリードする。直方ファールゲームを仕掛けるが、宮崎北落ちてフリースローを決めて、最終スコア88-82で宮崎北が勝利を収めた。

**【戦評記者】** 花田 康寛  
福岡県バスケットボール協会

## 第49回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会



会場	修猷館高等学校	
日時	平成31年3月23日 (土) 10:30	
コート	Fコート	第2試合
カテゴリー	男子	1回戦
主審	松浦 智光	
副審	坂口 幹	

TEAM A		TEAM B	
佐賀西	54	88	鹿児島商業
佐賀4位			鹿児島3位
●			○

10 1st 29

15 2nd 20

9 3rd 21

20 4th 18

OT

### 【BOXスコア】

TEAM A		佐賀西高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
1	諸富 樹	4		2		4	
2	高木 健太郎	8	2	1			
3	山崎 郁弥	0				1	
4	永尾 聡大	○ 14	2	3	2	4	
5	佐々木 太一	0					
6	津留 優斗	○ 4		2		4	
7	永田 優磨	0					
8	島内 陽向	0					
9	中山 凌太	0				1	
10	田代 爽	◎ 17	2	5	1	1	
11	西村 凌	○ 3	1				
15	山田 周直	0					
16	三原 泰斗	0					
17	村岡 金八	0					
24	西川 賢佑	○ 4		2		3	
コーチ	副島 弥重一						
合計		54	7	15	3	18	

TEAM B		鹿児島商業高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
1	前田 聖也	6		3		1	
3	山本 来毅	13	1	5		2	
11	赤崎 慧	3		1	1	1	
13	濱田 恋叶	4		2			
18	板敷 遼	○ 7		3	1	1	
19	巖 泰夏	3		1	1		
23	中元 聡師	◎ 6	1	1	1	1	
24	中村 輝一	4		2			
25	宮原 悠志	6		2	2		
32	益園 涼歌	4		2		1	
34	渡邊 嵩大	7		2	3	2	
36	深川 拓真	○ 7	1	2			
42	植益 顕	0					
45	中間 陸斗	○ 7		3	1	2	
51	村田 拓海	○ 11	1	4			
コーチ	伊藤 泰孝						
合計		88	4	33	10	11	

### 【戦評】

全九州大会1回戦、佐賀県4位佐賀西高校対鹿児島県3位鹿児島商業高校との対戦。スターティングメンバーは佐賀西が#4、#6、#10、#11、#24、鹿児島商業が#18、#23、#36、#45、#51。1Qどちらもハーフコートマンツーマンからのスタート。鹿児島商業は、#36の3ポイントや#51のインサイドなどで得点を重ねる。佐賀西は、緊張のためなかなか得点が決まらず、7分過ぎに#3の3ポイントで初得点。その後もバランスよく得点を重ねた鹿児島商業がリードを広げ、29対10。2Q鹿児島商業は、#34、#3などが順調に得点を重ね、途中から出場の#23の3ポイントなどが続く。佐賀西は、ディフェンスリバウンドやインターセプトからの速攻を試みるも得点につながらない。5分過ぎから#6のゴール下や#1の速攻で反撃するが差は縮まらず、25対49で前半終了。3Q佐賀西は、果敢にジャンプシュートやドライブをし、#10の3ポイントや#4のドライブが決まる。鹿児島商業はスピーディーにパスを回し、#23、#36、#18などが得点を重ねて差を広げ、34対70。4Q鹿児島商業は、#1の2ポイントや#19のバスケットカウント、#24の高さを活かしたゴール下などで得点する。佐賀西は積極的にダブルチームをしかけ、オフェンスでは2対2を使って#2や#4が得点する。更に#2や#4の3Pで追い上げるも、鹿児島商業が88対54で勝利した。

【戦評記者】 川口 富美  
福岡県バスケットボール協会



## 第49回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会



会場	福岡市総合体育館	
日時	平成31年3月23日 (土) 12:00	
コート	Aコート	第3試合
カテゴリー	男子	1回戦
主審	宇地原 尚彦	
第1副審	山口 勝真	
第2副審	山崎 誠二	

TEAM A			TEAM B		
九州学院	76		61	小林	
熊本1位				宮崎2位	
○				●	

### 【BOXスコア】

TEAM A		九州学院高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	跡部 晃基	◎	12	1	2	5	1
5	大内 一慶	○	15	1	5	2	2
6	露木 真弥		0				
7	西村 仁		0				
8	堤 玲太	○	5		2	1	3
9	福田 大斗		0				
10	野美山 翔馬		3		1	1	2
11	窪田 俊祐		0				
12	中野 友都	○	29	2	9	5	3
13	大城 瑞樹		0				1
14	井上 雅士	○	12	4			3
15	古川 侃		0				
コーチ	田中 洋平						
合計		76	8	19	14	15	

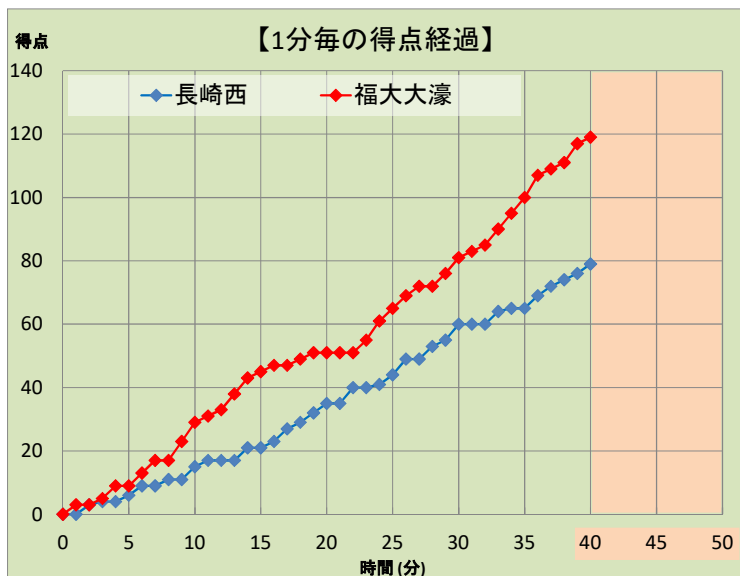
TEAM B		小林高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	高瀬 智生	◎	6		1	4	2
5	眞方 翔悟	○	8		4		3
6	中尾 祐太		9	1	2	2	2
7	高橋 勇斗	○	16	1	4	5	4
8	後藤 統哉		2		1		
9	松崎 一樹		0				
10	佐藤 航大		0				
11	森田 祥也	○	0				1
12	渡邊 颯汰		0				
13	鈴木 峻太		0				
14	大森 尊之	○	18	1	5	5	3
15	内倉 裕都		0				
16	河端 駿		0				
17	植野 翔太		2		1		2
18	松田 要		0				
コーチ	石川 祐二						
合計		61	3	18	16	17	

### 【戦評】

全九州大会1回戦、熊本県1位九州学院対宮崎県2位小林との対戦、九州学院のスターティングメンバーは、#4、#5、#8、#12、#14、小林のスターティングメンバーは、#4、#5、#7、#11、#14で試合開始。第1Q九州学院はオールコートマンツーマン、小林は2-2-1のゾーンプレスからスタート。お互いにアウトサイドがなかなか決まらず試合は膠着状態が続く。開始から3分、九州学院の#4、#12の3Pが決まり始め、徐々に点数が開き始める。開始5分で16-13、小林タイムアウト。小林は#4がゲームをコントロールしようとするが、九州学院のインサイド#8がゴール下のシュートをねじ込み、またアウトサイドもインサイドからのリズムの良いパスをスコアし、第1Qは九州学院が優位に立ち、23-7で終了。第2Q小林はファイト溢れるディフェンスからブレイクを立て続けに決め、九州学院はたまたまずタイムアウト。タイムアウト後は一進一退の攻防が続いたが、小林のシュートが決まり始め、試合の流れを引き寄せる。小林は残り3分30秒で同点に迫いつき、残り3分で#4のレイアップシュートで逆転。第2Qの小林の勢いは止まらなかった。34-33で九州学院1点リードで前半終了、お互い上背はないものの、トランジションの速い攻めで、観客を魅了した。第3Q開始、最初に主導権を握ったのは九州学院、オフェンスリバウンドを連続して獲得。逆に小林はルーズボールを粘り強く獲得し、シーソーゲームが続く。第3Qは両チームともそれぞれの持ち味を出し、拮抗した時間帯が続き、52-46で九州学院リード。第4Qは、九州学院がピックアンドスクリーンを起点にインサイドでの得点を重ねていくのに対し、小林はピックからのスリップをタイミング良く使い、ドライブを織り交ぜながら攻撃を仕掛けていた。一進一退の状態が続いたが、九州学院の流れるようなバックカット、パスランからのドライブで点数を重ねていき、残り6分で61-50で優位に立つ。さらに九州学院はディフェンスでも1-2-2のプレスを仕掛け突き放しにかかるが、小林もマッチアップゾーンで起死回生を図るが、一歩及ばず。最終スコアは76-61。お互いに最後まで脚力を生かしたスピード感溢れるゲーム展開で素晴らしい試合となった。

**【戦評記者】** 貞包 謙  
福岡県バスケットボール協会

## 第49回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会



会場	福岡市総合体育館	
日時	平成31年3月23日 (土) 12:00	
コート	Bコート	第3試合
カテゴリー	男子	1回戦
主審	紀伊 孝哉	
第1副審	野田 宏樹	
第2副審	千原 翔太	

TEAM A			TEAM B		
長崎西	79		119	福大大濠	
長崎1位				福岡2位	
		( 15 1st 29 ) ( 20 2nd 22 ) ( 25 3rd 30 ) ( 19 4th 38 ) OT			
		●	○		

### 【BOXスコア】

TEAM A		長崎西高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	山本 康瑛	◎ 23		9	5	3	
5	今村 楓	○ 10	1	1	5	3	
6	柴崎 雅也	○ 26	4	6	2	1	
7	島田 航弥	○ 5	1		2	3	
8	井上 聖也	○ 2		1		3	
9	松尾昂太郎	0					
10	高原 大輝	0					
11	武野 遥希	0					
12	深野 拓登	0					
13	増山 魁人	0					
14	上原 一祐	0					
15	稲益 友貴	0					
16	田口 大	4		1	2	3	
17	中富 亜星	9	1	1	4		
18	松井 響矢	0					
コーチ	上野 陽一						
合計		79	7	19	20	16	

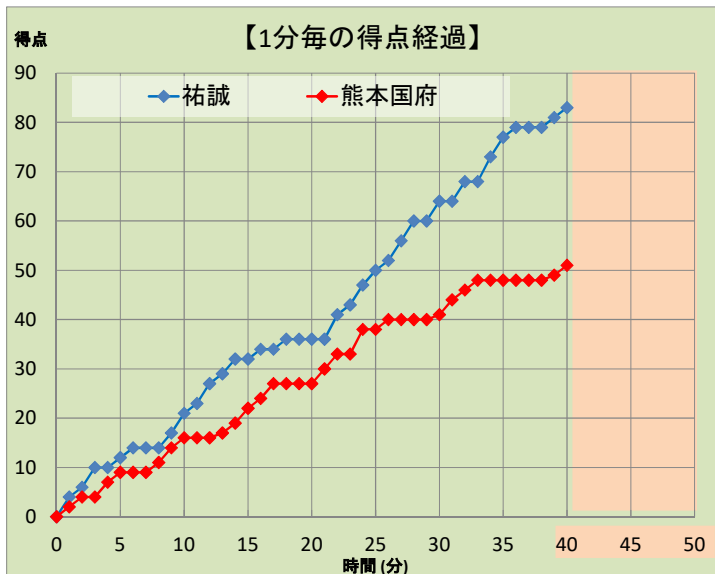
TEAM B		福大大濠高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	西田 公陽	◎ 31		13	5	1	
5	高木 寛大	5	1		2	3	
6	田邊 太一	○ 12		5	2	3	
7	間山 柁	○ 0					
8	木林 優	○ 20		8	4	4	
9	西田 陽成	5	1	1		2	
10	平松 克樹	0				1	
11	杉 渉夢	0				1	
12	山際 爽吾	2		1			
13	原田 大和	3	1			1	
14	横地 聖真	○ 35	2	12	5	1	
15	岩橋 史門	0				3	
16	廣政 遼馬	4		2			
17	大浦 禅次郎	0					
18	渡辺 康太	2		1			
コーチ	片峯 聡太						
合計		119	5	43	18	20	

### 【戦評】

全九州大会1回戦、長崎県1位長崎西対福岡県2位福大大濠との対戦、長崎西のスターティングメンバーは、#4、#5、#6、#7、#8、福大大濠のスターティングメンバーは、#4、#6、#7、#8、#14で試合開始。第1Q、両チームともマンツーマン。福大大濠#14の3P、長崎西#6の3Pで取り返してスタート。一進一退が続くも福大大濠の高さを生かしたディフェンスとリバウンドで少しずつ点差を広げていく。長崎西も3Pと速攻でなんとか離されないようについていくが、福大大濠#14を中心としたオフェンスで力の差を見せつけ終了。第2Q、長崎西#4の2Pでスタートするも、福大大濠#14のドライブ、#4の速攻で連続得点でさらに突き放す。長崎西はフリースローでしか点数が取れない時間帯が続く、なかなか波に乗れない。残り3分でチームを引っ張ってきた長崎西#4がファール3回でベンチに下がるも、チーム力でカバーし、点数を詰めて前半終了。前半は、福大大濠の高さと上手さが長崎西を大きく上回った。第3Q、長崎西#8の2P、#6の3Pで良い滑り出しを切るも、福大大濠#14の1on1で連続得点。長崎西にリズムを持っていかれない。長崎西は#4を中心に果敢に攻め続け、#6の体を張った献身的なプレーで福大大濠の高さに対抗する。しかし、長崎西の流れになりかけても、福大大濠にはその流れをすぐに切る強さがある。第4Q、福大大濠は高さだけでなく速さとスキルの高さで得点を重ねていく。メンバーを入れ替えても手を緩めない。最後まで福大大濠らしさを出し切り、40点差で勝利。福大大濠が終貫録を見せた試合であったが、長崎西#4#6を中心とし、最後まであきらめない高校生らしいプレーはとても良い印象であった。特に、長崎西#4と福大大濠#14のマッチアップはとても見ごたえがあった試合であった。

【戦評記者】 横屋 信夫  
福岡県バスケットボール協会

## 第49回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会



会場	修館高等学校	
日時	平成31年3月23日 (土)	12:00
コート	Eコート	第3試合
カテゴリー	男子	1回戦
主審	天久 朝貴	
副審	津留 一朝	

TEAM A			TEAM B		
祐誠	83		51	熊本国府	
福岡3位				熊本4位	
○				●	

21	1st	16
15	2nd	11
28	3rd	14
19	4th	10
OT		

### 【BOXスコア】

TEAM A		祐誠高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	時川 司	◎	22	1	9	1	
5	永富 真佑	○	21	1	8	2	
6	松尾 若将		0			2	
7	松尾 海飛	○	2	1		1	
8	阿部 孝大		0			1	
9	隈本 尚輝		2	1			
10	東野 泰士		0				
11	立木 広大		8	4		3	
12	福嶋 章悟		6	3			
13	長田 将		0				
14	吉岡 勇哉		0			2	
15	平井 駿輔	○	6	3		3	
16	西川 凌央		0				
17	竹嶋 健人	○	14	2	3	2	
18	東野 友哉		2			2	
コーチ	三笠 富洋						
合計			83	4	32	7	14

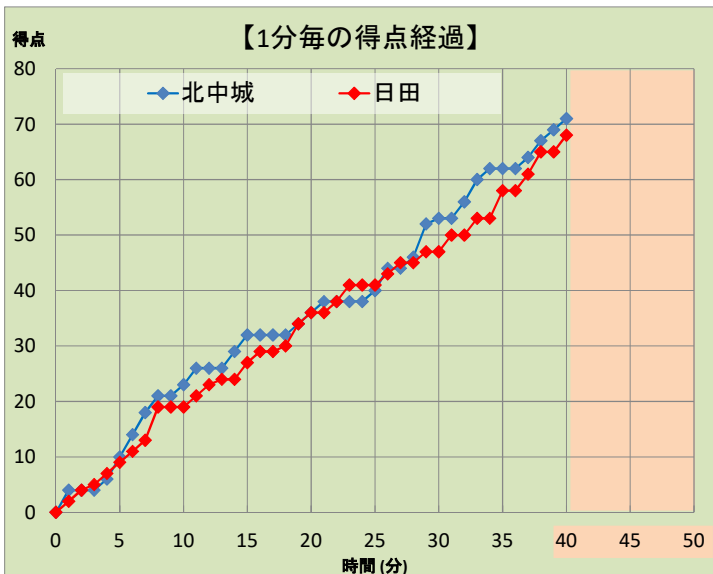
TEAM B		熊本国府高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	堤 玲樹	◎	11		5	1	3
5	坂本 充	○	0				3
6	杉村 快理	○	9		3	3	2
7	橋口 秀人	○	21	4	3	3	4
8	坂根 駿翔	○	0				
9	梶原 琉我		0				
10	森田 竜生		8	1	2	1	3
11	鬼塚 瑠唯		0				1
12	坂本 皓盛		2		1		
13	古賀 拓海		0				
14	宮部 懸士		0				
15	宮本 太一		0				
16	須崎 里仁		0				
17	井口 直哉		0				
18	藤 恭之輔		0				
コーチ	岩坪 大輝						
合計			51	5	14	8	16

### 【戦評】

1回戦、福岡県3位祐誠対熊本県4位熊本国府の対戦。スターティングメンバーは、祐誠が#4、#5、#7、#15、#17、熊本国府が#4、#5、#6、#7、#8。第1Qは両チームディフェンスをマンツーマンでスタートし、祐誠が早い展開で攻撃し、#5のレイアップシュート、#12のジャンプシュートで主導権を握る。残り1分、熊本国府は#6がリバウンドシュート、#10が3ポイントシュートを決め、同点に追いつくが、祐誠が得点を重ね、第1Qを祐誠が21対16でリードして終了。第2Qは祐誠が#5の活躍で、リードを広げ、残り8分で熊本国府がタイムアウト。熊本国府はシュートで終わる形でオフェンスを続け、#7のレイアップ、#4のジャンプシュート、#7の3ポイントシュートで得点するが、祐誠がリバウンドからの全員速攻で、第2Qを36対27で9点差リードで終了。第3Qは両チームともに、マンツーマンを継続。熊本国府が守りで圧力を強める中、祐誠はオフェンスリバウンドを取り始め、#4、#5、#12を中心にプレーし、リードを12点差とし、残り6分で熊本国府がタイムアウト。熊本国府はボールを止めずに攻撃し、#10のジャンプシュートなどで粘り強く戦うが、祐誠がスクリーンプレーを絡めたプレーで加点し、第3Qを64対41でリードし終了。第4Q、熊本国府は#10や#7の活躍で応戦するが、祐誠は#7、#12の外角シュートや速攻でリードを広げ、83対51で祐誠が2回戦進出を決めた。両チームともに、1対1を積極的に行う好チームであった。

【戦評記者】 石井 雅太  
福岡県バスケットボール協会

## 第49回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会



会場	修猷館高等学校	
日時	平成31年3月23日 (土)	12:00
コート	Fコート	第3試合
カテゴリー	男子	1回戦
主審	田中 洋介	
副審	白銀 将信	

TEAM A			TEAM B		
北中城	71	68	日田		
沖縄4位			大分3位		
○			●		

23 1st 19

13 2nd 17

17 3rd 11

18 4th 21

OT

### 【BOXスコア】

TEAM A		北中城高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
86	目差 太郎	2		1			
2	比嘉 成希	9		4	1	1	
30	宮城 真斗	0					
15	金城 匡軌	0					
17	新垣 璃山	2		1		3	
25	山崎 磨柁	0					
31	大城 琉空	0					
32	翁長 夏生	15	2	2	5	3	
33	新里 祐輝	6		3		3	
14	嘉陽 海斗	0					
47	津嘉山 真央	1			1	3	
77	平川 拓叶	32	2	11	4	4	
87	新垣 樂実	0					
88	照屋 皇樹	0					
91	玉那覇 拓巳	4		2		2	
コーチ	安谷屋 健太						
合計		71	4	24	11	19	

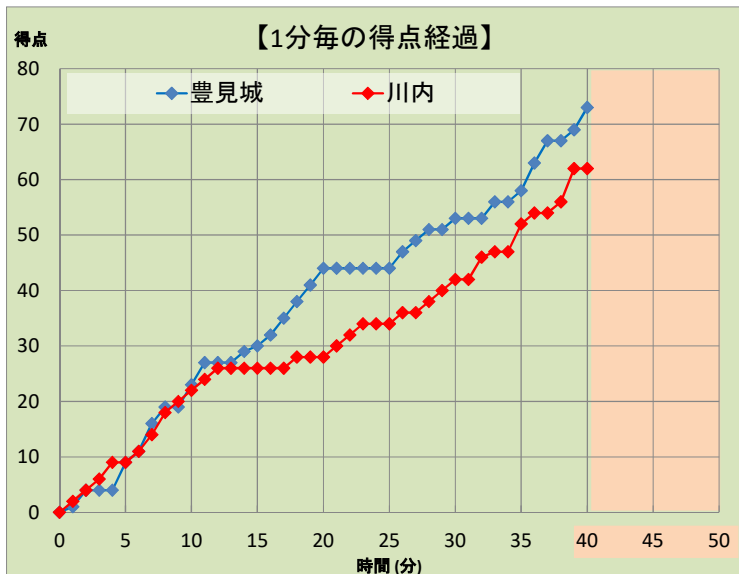
TEAM B		日田高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	梅木 涼貴	42	3	11	11	4	
5	井上 統偉	4			4	5	
6	河津 創大	0					
7	池上 塔太	8	2	1		3	
8	河内 大征	0					
9	川近 洋斗	0					
10	高倉 隆介	8		4		3	
11	井上 翔太	4	1		1	2	
12	木下 真貴	0					
13	横山 晃汰	0					
14	伊藤 宏輝	2		1		1	
15	長野 樹	0					
16	杉野 冬弥	0					
17	信岡 健士郎	0					
18	河野 蓮	0					
コーチ	三ツ廣 荘規						
合計		68	6	17	16	18	

### 【戦評】

全九州大会1回戦、沖縄県4位北中城高校対大分県3位日田高校の対戦、スターティングメンバーは北中城#17、#32、#33、#47、#77、日田#4、#5、#7、#10、#14で開始。1Qは、北中城はスターティングメンバー全員で得点を取り、日田は#4のシュート、ドライブを中心として得点した。両チームドライブ中心の攻撃でファールの多い立ち上がりとなった。2Qは、北中城#91のシュートや#2のドライブからのキックアウト、#32の3Pで得点し、全員でリバウンドに参加した。日田は、#4のドライブ、シュートを中心としたオフェンスを行い得点した。終盤日田が激しいディフェンスからボールを奪い速攻で得点し、36対36の同点として前半を終えた。3Qは、両チームとも思うように得点することができず、お互いのバスケットに慣れてきていることが感じられた。その中でも日田は#4のドライブ、シュート#14のリバウンドにより得点したが、北中城は#33のポストプレイや#77のドライブで得点し、53対47と北中城とリードで終えた。4Qは、北中城が勢いをそのままに#77のドライブ、速攻で得点しリードを広げた。ディフェンスでは前半25得点の日田の#4をチームで守り得点を抑えていた。日田#4は守られて苦しい中3Pを決め最大9点あった得点差を3点差まで詰める活躍をした。最後は北中城がリードを守り71対68で試合を終えた。両チーム粘り強くプレイし最後まで勝敗のわからないナイスゲームであった。

【戦評記者】 萱嶋 勝平  
福岡県バスケットボール協会

## 第49回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会



会場	福岡市総合体育館	
日時	平成31年3月23日 (土)	13:30
コート	Aコート	第4試合
カテゴリー	男子	1回戦
主審	金岩 貴之	
第1副審	山口 憲昭	
第2副審	大坪 元気	

TEAM A			TEAM B		
豊見城	73		62	川内	
沖縄1位				鹿児島2位	
○				●	

23 1st 22
21 2nd 6  
9 3rd 14
20 4th 20  
 OT

### 【BOXスコア】

TEAM A		豊見城高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	比嘉 颯人	0					
5	渡久地 政睦	○ 0				1	
6	伊良部 龍侍	0					
7	赤嶺 有奎	◎ 22	4	3	4	3	
8	喜納 秀雅	0					
9	長濱 凌	9	1	2	2	3	
10	桃原 奨	6	1	1	1	1	
11	嘉敷 啓希	○ 17	1	7		3	
12	新垣 隆太	0					
13	元長 亮介	○ 6		3			
14	登川 莉玖士	0					
15	諸見田 敬介	○ 13	3	1	2	3	
16	伊敷 鉦太郎	0					
17	赤嶺 敬将	0					
18	知念 拓己	0					
コーチ	嘉陽 宗紀						
合計		73	10	17	9	14	

TEAM B		川内高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
1	宮原 悠生	0					
5	福森 響	0					
6	野口 侑真	○ 34	1	14	3	1	
7	大山 陸斗	0					
9	馬場 千尋	◎ 8	1	1	3	4	
10	深川 和真	0					
17	山崎 涼雅	0					
19	山田 響	○ 5		2	1	2	
32	川畑 颯太郎	○ 7		3	1	5	
35	跡上 裕人	0					
36	弥栄 祐希	0					
37	小林 京平	3	1				
51	西平 成近	○ 5		2	1	2	
58	上川畑 晴登	0					
88	高城 大聖	0				1	
コーチ	田中 俊一						
合計		62	3	22	9	15	

### 【戦評】

全九州大会1回戦、沖縄県1位豊見城対鹿児島県2位川内との対戦、豊見城のスターティングメンバーは、#5、#7、#11、#13、#15、川内のスターティングメンバーは、#6、#9、#19、#32、#51で試合開始。第1Q川内ボールからスタート。ディフェンスは両チームともハーフコートマンツーマン。川内は#6のジャンプショットで先制し、豊見城は#7の鋭いドライブからチャンスを作る。両チーム激しいディフェンスの中、豊見城#11が得点すると川内#6が入れ返すといった両者一歩も譲らない展開。豊見城#15の連続3Pで2点リードするが川内#7がフリースローを1本決め23-22豊見城リードで第1Q終了。第2Q豊見城ボールでスタートし、セットプレーで得点。すぐさま川内が入れ返し、1点差の攻防が続く。開始3分、豊見城の得点をきっかけに豊見城がオールコートでプレッシャーをかけ川内のターンオーバーを誘い流れが豊見城に傾く。豊見城の激しいディフェンスが続き、川内は#6を中心に喰らいづくが思うように得点ができない。豊見城はスピードを生かしたアーリーオフェンスを展開し、3Pの得点が伸び44-28豊見城リードで前半終了。第3Q川内ボールからスタート。セットプレーから川内#6がたて続けに得点し流れを引き寄せる。川内が10点差まで追いついたが、豊見城がディフェンスで粘り53-42豊見城リードで第3Q終了。第4Q川内が連続得点で猛追。流れを一気に引き寄せる。8分10秒豊見城流れを止めるべくタイムアウト。豊見城はディフェンスを1-2-2に変え、試合のペースを変える。残り5分、川内#9の3Pで6点差に迫る。川内はディフェンスを1-2-2に変え勝負を仕掛ける。川内に流れが傾いた所で、豊見城もゾーンプレスで勝負をしかけ一気に流れを引き戻す。残り2分豊見城はうまくボールを回し時間をかけてオフェンスを展開する。川内#6が懸命に得点をするが豊見城が逃げ切り、73-62で豊見城の勝利。

**【戦評記者】** 大石 仁人  
福岡県バスケットボール協会

## 第49回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会



会場	福岡市総合体育館	
日時	平成31年3月23日 (土)	13:30
コート	Bコート	第4試合
カテゴリー	男子	1回戦
主審	小川 隆三	
第1副審	上野山 靖	
第2副審	三好 浩一	

TEAM A			TEAM B																	
佐賀北	65	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr><td>11</td><td>1st</td><td>19</td></tr> <tr><td>11</td><td>2nd</td><td>12</td></tr> <tr><td>18</td><td>3rd</td><td>15</td></tr> <tr><td>25</td><td>4th</td><td>21</td></tr> <tr><td colspan="3">OT</td></tr> </table>	11	1st	19	11	2nd	12	18	3rd	15	25	4th	21	OT			67	大分舞鶴	大分1位
11	1st	19																		
11	2nd	12																		
18	3rd	15																		
25	4th	21																		
OT																				
佐賀2位																				
●				○																

### 【BOXスコア】

TEAM A		佐賀北高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	永田 誠道	◎ 21	1	5	8	1	
5	立華 聖龍	○ 22	6	2		1	
6	伊東 汰晟	0					
7	光石 寛将	0					
8	大城 英太郎	○ 6		2	2	3	
9	古賀 宇宙	○ 7		3	1	3	
10	岡本 大志	0					
11	野中 秀明	0					
12	武藤 諒	0					
13	江口 賢太	0					
14	乗富 裕介	0					
15	光瀬 裕	0					
16	都留 誠吾	○ 9	1	2	2	1	
17	山口 光	0					
コーチ	緒方 重宣						
合計		65	8	14	13	9	

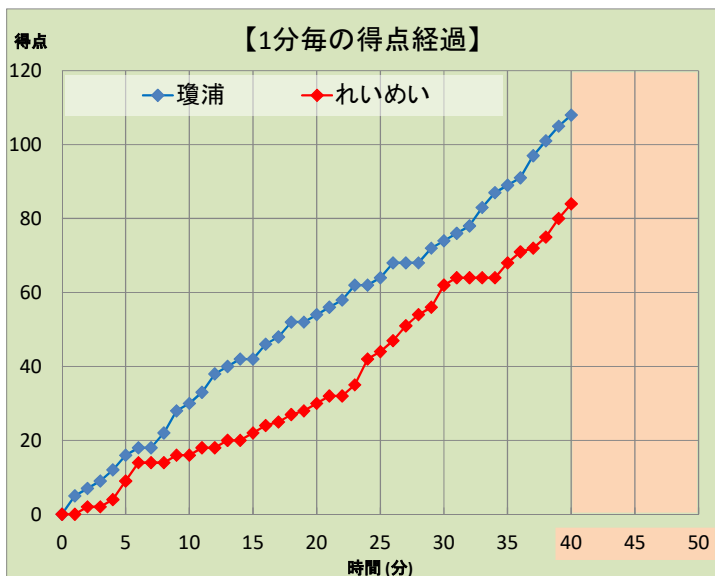
TEAM B		大分舞鶴高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	小畑 莉大	◎ 2		1			
5	池田 優	○ 7	1	2		3	
6	佐藤 夏羽	12	4				
7	日高 圭佑	0					
8	芝田 亮輔	0					
9	今井 駿	6		3			
10	近藤 怜己	○ 10		4	2	3	
11	高森 雄太	0					
12	上山 隼人	○ 11	1	4		3	
13	加藤 大智	○ 19	3	5		1	
14	小野 拓海	0					
15	檜垣 太一	0					
16	高橋 伊緒理	0					
17	武市 太陽	0					
18	首藤 楓斗	0					
コーチ	池田 剛						
合計		67	9	19	2	10	

### 【戦評】

全九州大会1回戦、佐賀県2位佐賀北対大分県1位大分舞鶴との対戦、チームAのスターティングメンバーは、#4、#5、#8、#9、#16、チームBのスターティングメンバーは、#4、#5、#10、#12、#13で試合開始。第1Q両チームハーフコートマンツーマンでスタート。両チームともドリブルドライブで果敢に攻めるもタフショットになり得点が伸びない。大分舞鶴の3Pが決まりだしドライブからの合わせ、リバウンドショットなど徐々にリズムをつかみ始め、8点リードで第1Qを終える。第2Q佐賀北は#5の3Pで反撃開始、リバウンドから速攻を仕掛け、開始3分で1点差に迫る。大分舞鶴は#13のドライブ、#12のジャンプショットで得点し主導権を渡さない。#13のドライブが再び決まり22対31大分舞鶴の9点リードで前半終了。前半は互いにリズムに乗れない状況であったが終盤から#13の個人技を軸に大分舞鶴のペースでゲームが動き始めた。第3Qタフショットが続く佐賀北に対し大分舞鶴もペイントエリアでのショットを落とし膠着状態が続く。大分舞鶴は#13の個人技、佐賀北は#4の個人技や#5の3Pを軸にオフェンスを展開、しかしながら決め手を欠いた状態でゲームは進行し40対46大分舞鶴点6リードで第3Q終了。第4Q早い展開でオフェンスを始め#16のドライブ、#9のリバウンドで攻める佐賀北はシュートを決めきれず、大分舞鶴が#13の個人技と#6の3Pで突き放しにかかる。お互いに得点は伸び始めるが連続得点ができない展開となる。佐賀北はフルコートのマンツーマントラップから#5、#4の3連続3Pで2点差に詰め寄る。大分舞鶴残り27。6秒からのオフェンスは失敗に終わるものの佐賀北の最後の3Pはリングに嫌われ、67対65で試合終了。効果的な個人技で大分舞鶴が逃げ切った試合となった。

【戦評記者】 足立 亮一  
福岡県バスケットボール協会

## 第49回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会



会場	修猷館高等学校	
日時	平成31年3月23日 (土)	13:30
コート	Eコート	第4試合
カテゴリー	男子	1回戦
主審	山本 隆治	
副審	田中 慎也	

TEAM A			TEAM B		
瓊浦	108	30 1st 16 24 2nd 14 20 3rd 32 34 4th 22 OT	84	れいめい	鹿児島4位
長崎3位					
○				●	

### 【BOXスコア】

TEAM A		瓊浦高等学校				
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則
4	松村 凱士貴	2		1		1
5	西野 浩史	○ 14		7		3
6	片岡 耕介	○ 9		4	1	
7	寺崎 廉	2		1		
8	前川 浩人	0				2
9	宇野 秀太	4		2		
10	岩崎 海凐人	○ 0				
11	松村 生	10		4	2	2
12	山田 薫	2		1		1
13	寺島 憧	2		1		1
14	高比良 舜	1			1	
15	ンゲンザ アーノルド	○ 24		12		2
16	江頭 永遠	4		1	2	
17	喜多 伊総	◎ 26	3	7	3	
18	中川 英士	8		4		1
コーチ	埴生 浩二					
合計		108	3	45	9	13

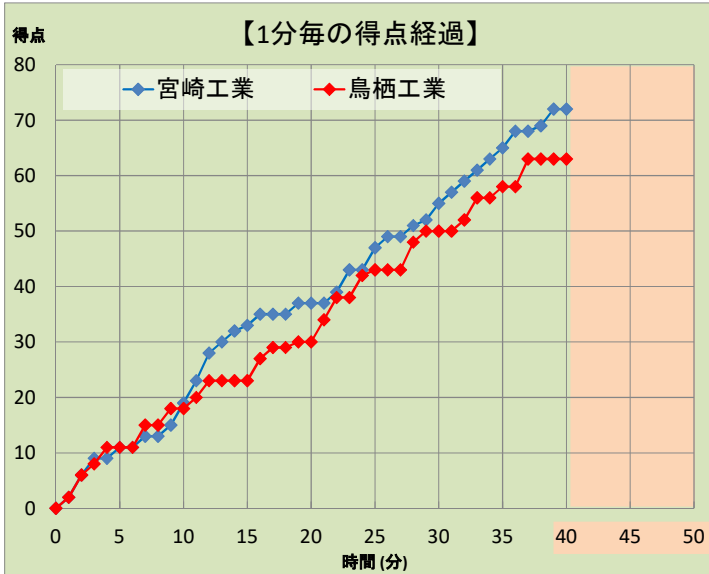
TEAM B		れいめい高等学校				
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則
0	伊佐 常磨	0				
8	照屋 翔	○ 9	1	3		4
11	宮原 祐介	0				
13	花田 唯翔	◎ 13	3	2		3
15	迫田 龍聖	0				
17	小城 悠太	3	1			1
21	福崎 彬裕	0				
2	我如古 圭	2		1		
27	普天間 響	○ 13	2	2	3	3
28	大迫 海弥	○ 15		7	1	1
30	上川 泰平	○ 14	1	5	1	1
62	仲松 葵弘	0				
35	今給黎 紘希	15		6	3	1
50	東郷 桐士	0				
99	坂下 昇平	0				
コーチ	和田 玄太					
合計		84	8	26	8	14

### 【戦評】

全九州大会1回戦、長崎県3位瓊浦対鹿児島県4位れいめいとの対戦。瓊浦は#5、#6、#10、#15、#17、れいめいは#8、#13、#27、#28、#30で試合開始。第1Q、瓊浦#17の3連続得点で主導権を握る。れいめいは得点が伸びず、11-2になったところで、れいめいタイムアウト。れいめいは厳しいディフェンスからリズムを取り戻し、得点を重ねるが、なかなか点差は縮まらず、30-16瓊浦リードで終了。第2Q、瓊浦連続3Pで先制。何とか点差を縮めたいれいめいは果敢にペイントにアタックするが点差が縮まらない。40-20になったところで、れいめいはタイムアウトを取るが、それでも点差を縮めることができない。その間、瓊浦は着実に加点し、54-30と瓊浦がリードを広げた。第3Q、瓊浦は#15の連続得点で着実に得点していく。れいめいは点差を縮めようと激しいディフェンスから、素早い速攻、パス回しから果敢にペイントアタックを仕掛け、中外の良いリズムからオフェンスを展開し、活路を見出す。またオールコートゾーンプレスを仕掛け、相手のミスを生み出し、点差を縮めることに成功する。終了間際、れいめい#30の3Pブザービーターが決まり、74-62瓊浦リードのまま終了。れいめいは点差を大きく縮めて、第4Qに望みを繋げた。第4Q、瓊浦は#5、#15を中心に攻撃を展開。れいめいは引き続き、激しいディフェンスからの速攻で逆転を狙う。点の取り合いが続くが、瓊浦は#15の連続得点で次第に点差を広げていく。試合終盤、瓊浦はベンチメンバーが奮闘して得点を伸ばし、108-84で瓊浦が勝利。最後まで諦めずにコートを縦横無尽に走り回ったれいめいの選手にも賞賛を送りたい。

【戦評記者】 花田 康寛  
福岡県バスケットボール協会

## 第49回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会



会場	修猷館高等学校	
日時	平成31年3月23日 (土)	13:30
コート	Fコート	第4試合
カテゴリー	男子	1回戦
主審	堀田 兼史	
副審	多田 賢司	

TEAM A		TEAM B	
宮崎工業	72	63	鳥栖工業
宮崎4位			佐賀3位
○			●

### 【BOXスコア】

TEAM A		宮崎工業高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	森 友希	◎	17	1	4	6	3
5	岩瀬 涼	○	27		11	5	
6	中野 快飛	○	4		2		3
7	中間 諒	○	8		3	2	2
8	堀田 大雅		0				
9	三田 真渡		0				
10	溝神 賢斗		0				
11	古賀 翔大		0				
12	森山 晃貴		0				
13	石本 歩夢	○	8		3	2	
14	黒木 朋也		0				
15	木谷 陽斗		0				
16	松崎 純平		0				1
17	岩永 友希		8		2	4	1
18	小野 颯介		0				
コーチ	橘 裕						
合計			72	1	25	19	10

TEAM B		鳥栖工業高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	轟 蒼空	◎	5		2	1	5
5	内川 大輝	○	3	1			4
6	松田 虹	○	20		8	4	5
7	細井 四葉		0				
8	田中 流聖	○	11	1	4		4
9	川西 洸輝		3	1			1
10	中野 爽椰		2		1		1
11	池田 輝星		0				
12	樋口 龍斗		0				
13	宮原 琉威	○	13		5	3	4
14	原 仁之丞		0				
15	西中 亮		0				
16	大塚 巧真		0				
17	矢野 虎太郎		0				
18	下村 俊哉		6	2			1
コーチ	福島 啓視						
合計			63	5	20	8	25

### 【戦評】

全九州大会1回戦、宮崎県4位宮崎工業対佐賀県3位鳥栖工業との対戦。スターティングメンバーは、宮崎工業#4、#5、#6、#7、#13、鳥栖工業#4、#5、#6、#8、#13。1Q宮崎工業はハーコートマンツーマン、鳥栖工業はソープレスとマンツーマン。お互い積極的に1on1をしかけてファウルを誘い、鳥栖工業は#6、#8、宮崎工業は#4の2P、3Pを中心に得点し、19対18で終了する。2Q、宮崎工業が#4、#5の連続得点すると、鳥栖工業も#13の2P、#18の3Pで反撃するなど、激しい攻防がある。その後、鳥栖工業は、#13のゴール下などで得点するが、宮崎工業は#13のが積極的なオフェンスリバウンドや#5の得点などで少しずつ差を広げ、37対30で前半終了。3Q開始1分、鳥栖工業は、#4の連続得点、#6の得点で1点差に迫る。宮崎工業#5のジャンプシュート、鳥栖工業#13のゴール下、#8の得点などでお互い譲らず、1~3点差の争いが続き、55対50で終了。4Qも一進一退の攻防が続き、宮崎工業は#4、#5が3PファウルのFTを決めるなどして徐々に引き離し、残り5分で10点差になった。鳥栖工業は、#6、#10のゴール下で残り3分で5点差まで詰め寄るが、#4、#6の退場も響いて72対63で試合終了。

【戦評記者】 川口 富美  
福岡県バスケットボール協会